慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應義塾の古文書：文学部古文書室所蔵史料を中心に
Sub Title	On the primary sources of history held in the faculty of letters at Keio University
Author	田代, 和生(Tashiro, Kazui)
Publisher	三田史学会
Publication year	2012
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.81, No.1/2 (2012. 3) ,p.237- 238
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	シンポジウム
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20120300-0237

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

シンポジウム

慶應義塾の古文書

―文学部古文書室所蔵史料を中心に―

本報告論文は、二〇一一年六月十八日慶應義塾大学三田キャンパス西校舎において開催された三田史学会大会午後の部のシンポジウムの内容を纏めたものである。

一九六九年に創設された古文書室は、二〇〇九年に文学部附置組織として位置づけられ、これに伴い三田メディアセンター内に保管されていた一部の貴重文書が移管されることになった。古文書室は、これまでその所蔵史料の特徴から、関東地方を中心とする自治体による史料調査の対象となり、利用者のほとんどが近世の地方史、農村史など塾外の研究者で占められていた。

しかし移管された貴重文書のなかには、少数ながらも古代・中世にかかわる古文書が含まれており、この他古文書室にはこれまで学界で知られていない貴重なものが数多く保管されている。今回のシンポジウム開催の目的は、塾内の日本史研究者がその学術的価値を認識し、いくつかの実例を明らかにすることによって、三田史学会会員の皆様はじめより広い分野の研究者に、文学部古文書室の存在と収蔵文書へのアクセスの方法、内容などについて周知していただくことにある。

このシンポジウムは、以下の報告とコメントで構成されている。

司会　慶應義塾大学名誉教授　田代和生

報告①古文書室所蔵文書の特徴と検索システム
慶應義塾大学文学部古文書室研究員　丸島和洋

報告②古文書室所蔵の園城寺文書と東大寺文書
慶應義塾大学文学部教授　中島圭一

報告③海軍中将仁礼景範の塩業経営
慶應義塾大学文学部教授　井奥成彦

コメント

京都大学総合博物館講師　五島敏芳
神奈川県立歴史博物館主任学芸員　古川元也
関西大学経済学部教授　浜野　潔

会場からのコメント

慶應義塾大学名誉教授　速水　融

報告者はもとより、コメントに当たられた方々からは、文学部古文書室所蔵史料の理解をさらに深める新しい視野での学術的提言が数々寄せられた。そこでコメントの方々にもあらためて論題をつけていただき、報告者とともに当日の会場の発言にとどまらない論文形式での報告書とさせていただくことにした。

（文責　田代和生）